

長野県史編さん事業経過

和暦	西暦	県史編さん事業		
		信濃史料	長野県史	
大正8年度	1919	資料収集着手 ※支援体制が整う		
昭和4年度	1929			県史編纂会設立
昭和16年度	1941			
		資料収集		
		40年間		
			<p>○信濃史料：江戸初期の寛永20年（1643）までの県の歴史資料集</p> <p>大正7年（1918） 県史編さんに先立ち資料収集の予算を計上し、編さんの下準備をする旨の知事説明</p> <p>昭和3年（1928） 東京帝国大学助教授が協力の約束</p> <p>昭和4年（1929） 「長野県史編纂会」の県報告示</p> <p>昭和17年（1942） 県単独での継続が困難となり、県、信濃毎日新聞社、信濃教育会による「信濃史料刊行会」を設立</p> <p>昭和26年（1951） 信毎創刊80周年記念事業へ位置付け。刊行会の再組織化（7団体）</p> <p>昭和44年（1969） 刊行完結（全29巻31冊）</p>	
		50年		
昭和40年度	1965		議会定例会で意見書可決	
昭和43年度	1968		県史刊行会設立・専門委員会発足	
昭和44年度	1969	刊行完結（S44.5）	社団法人化	
昭和49年度	1974		県史下限決定（昭和20年まで）	
			24年間	
			55年	
平成3年度	1991		刊行完結（H4.3）	
			<p>●現長野県史：「信濃史料」及び「信濃史料」以降の資料や最新の資料の再集成により、社団法人長野県史刊行会によって編さん刊行された長野県の歴史書</p> <p>平成4年（1992）刊行完結（全38巻70冊）</p> <p>事業費：2,410百万円</p>	
令和3年度	2021		現代史編さんに関する議会請願採択	
令和4年度	2022	資料収集	県史編さんを念頭に資料収集・検討開始	
令和5年度	2023		新たな長野県史編さんに関する有識者懇談会	